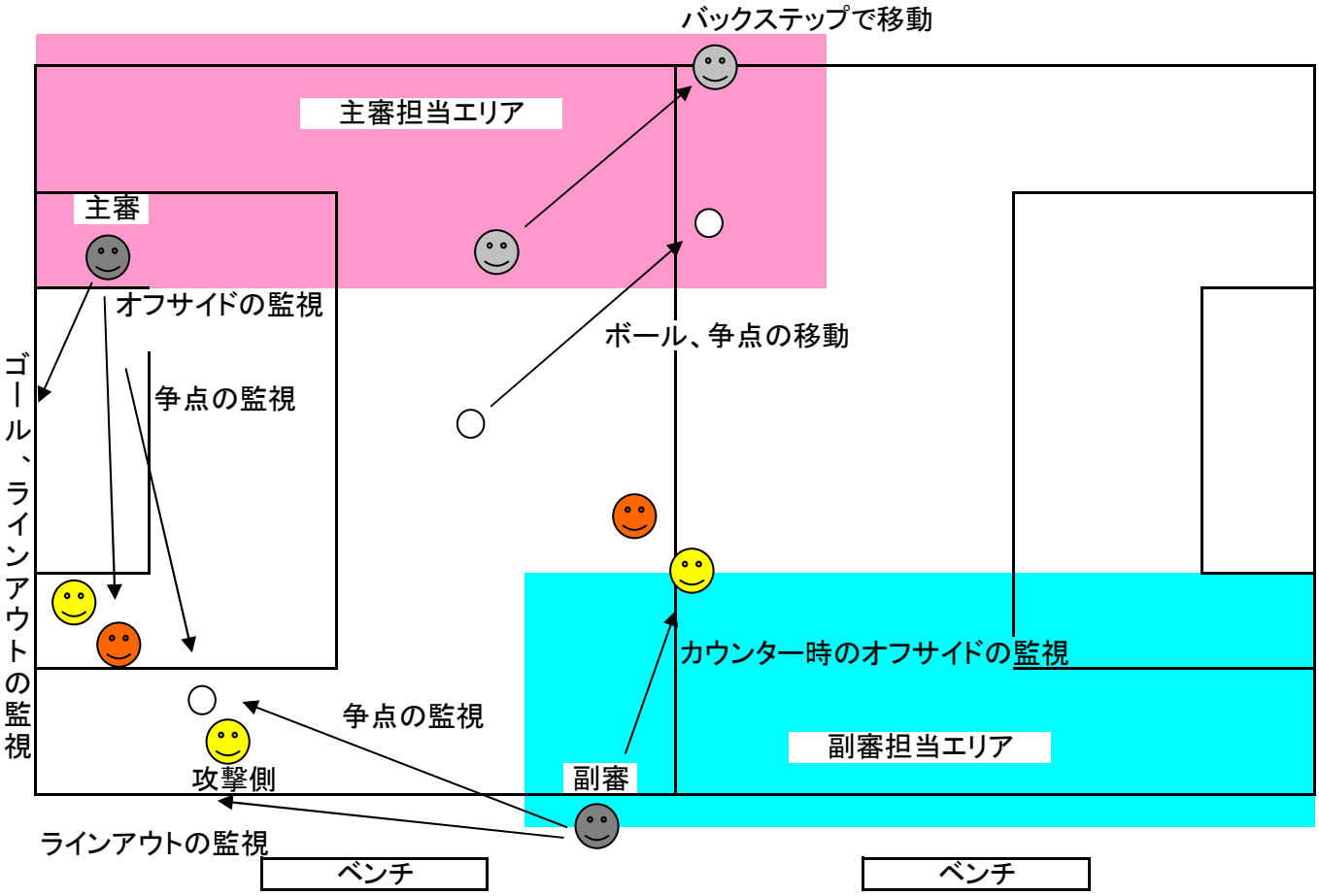
3年生チャレンジカップ、4年生フェアプレーカップでの2審担当要領

1）ルールは、これまで通り11人制同様。オフサイドあり。
2）主審、副審を決め、概ね図に示したエリアを移動しながらゲームコントロールを行う。
3）フットサル同様、主審、副審共ホイッスルを持ち、ゲームを止め再開させる。
4）主審、副審の判定が異なる場合は主審の判定が優先される。ただし主審は、副審のポジショニングなどを考慮し、最終決定する。

＜ ポジショニングの留意点 ＞

図に示した状況では、主審は争点の監視、ゴールの確認、ゴールラインからのボールアウトの確認。
副審は、争点の確認、タッチラインからのラインアウトの確認、カウンター時などのオフサイドの監視。

※主審と副審は常に向かい合うようにポジショニングし、背中を向けることが無いよう争点、ボールの移動に伴いバックステップを使う。

※キックオフ時は、キックオフを行うチームのエンドを主に担当する審判がホイッスルとキックオフの監視をし、ディフェンス側の審判がオフサイドラインを監視する。